

シリーズ

名演探訪 ～日本の合唱

7

「動物の受難」

早川 功

令和5年(2023) 2月28日

click [Isao Hayakawa 集まれ合唱!](#)
facebook公開グループ「集まれ合唱！」
に連載したものをまとめました

合唱王国と呼ばれる福島県。1970年代以降突然の様にコンクールの全部門でその力を発揮しだしたのは何故でしょう。その答えを求める時、多くの指導者が一人の合唱指揮者の名前を挙げます。それは田中信昭。言わずと知れた東京混声合唱団の創始者であり、桂冠指揮者。90歳を超えた現在も現役として活躍する日本合唱界の重鎮です。

1964年、当時福島を代表する合唱団であったFMC混声合唱団の指揮者であった高野廣治は全国コンクールでどうしても優勝できない壁に当たり、田中氏のもとに弟子入りしました。翌年田中氏は福島に出向き、FMC合唱団に練習をつけることとなります。その機会に高野氏は県内の中高の合唱指導者たちに声掛けしてその現場を公開することになりました。田中氏の棒の下、FMCの音が魔法の様に劇的に変わっていくのを目の当たりにした教師たち。本当の合唱指揮を皆で学びたいということで、67年の春、福島県合唱指揮者協会を立ち上げ、資金を出し合っ、月に一度田中氏を郡山に呼び、講習を受けることにしたのです。それは3年間途切れることなく続けられました。

FMC合唱団は67年、念願の全国優勝を果たします。そして70年にはその講習の成果を証明するように会津農林高校が福島県初の高校優勝を果たします。当時の高校では貴重な混声合唱で林光の難曲「水ヲクダサイ」を自由曲に選び、作曲者をして「理想の演奏」と言わしめた伝説的名演を残したのです。指揮者は28歳の高麗正宣先生でした。その2年後には五十嵐先生の福島西、渡部先生の安積女子の両校が同時金賞を受賞し、福島県の合唱黄金時代が始まったわけです。

田中氏の指導は何が違ったのでしょうか。一つの特徴としてルネサンス時代のポリフォニー音楽への取り組みがあります。全パートが独立した旋律を正確な音程を横に流すことによって生まれる縦の和声感を重視する。西欧の教会音楽から派生した合唱の基礎に立ち返ることが、ひいては現代の合唱音楽もより生きた音で演奏することに繋がるということでしょうか。

こんな話があります。ある高校に赴任してきた先生が初めに日本の現代合唱曲を歌わせようとしたところ、合唱部の生徒の方から「ポリフォニーを歌いたいです」と言われたそうで

す。その先生はポリフォニーの経験が無く、「そんな難しいものを」と逡巡すると生徒は「ポリフォニーの方が歌いやすいし、楽しいですよ」と答えたと言うのです。その後その先生がポリフォニーの魅力に憑りつかれたことは言うまでもありません。県内では中堅に位置する高校でもそういう意識が生徒自身にある。それが福島県の合唱の土台を広く強くしているのだと思います。

田中氏自身、戦後中学校の音楽教師だった時代があります。その中学にはピアノも無く、無伴奏で口伝えで混声四部合唱の指導をしていた。その時の生徒たちとの時間が楽しく、貴重な経験となったと語っています。後に芸大声楽科に入り学内で声楽アンサンブルを結成したことが後の東京混声合唱団の発足に繋がります。アンサンブルを楽しむこと、ポリフォニーをきちんと理解し取り入れること。これは全ての合唱指導者が持つべき指針であると私は思います。

混声合唱、ヴィブラフォン、ピアノ

のための「動物の受難」

作詩：岩田宏

作曲：林光

指揮：田中信昭

ヴィブラフォン：山口恭範

ピアノ：田中瑤子

合唱：東京混声合唱団



<https://www.youtube.com/watch?v=v4RhuII9rHY>

1956年に東京混声合唱団が誕生し、多くの作曲家に作品を委嘱する活動を始めたことにより、1960年代以降日本の混声合唱作品は瞬く間に充実し始めました。紹介するのは1961年林光作曲の「動物の受難」。当時の合唱作品に多かった戦争を題材にした作品で、これは爆撃による猛獣の脱走を畏れた政府の命令により、動物園の猛獣を殺処分せざるをえなかった史実に基づいて作られた岩田宏の詩に作曲されました。林の合唱作品では「原爆小景」と並ぶ戦争の悲惨さを訴えた作品として大事な名曲だと思います。

1971年録音、ピアノとヴィブラフォンと混声合唱と言う編成で、指揮はもちろん田中信昭、ピアノが夫人の田中瑤子、そしてヴィブラフォンはこの年から新日本フィルの首席打楽器奏者となった名手山口恭範、合唱はもちろん東京混声合唱団です。林光独特の音響の中に精緻なアンサンブルを活かした田中信昭ならではの鋭角的な名演。

【シリーズ バックナンバー】

- ▶ 1 男声合唱組曲「枯れ木と太陽の歌」
- ▶ 2 男声合唱組曲「月光とピエロ」
- ▶ 3 男声合唱組曲「柳河風俗詩」
- ▶ 4 女声合唱組曲「美しい訣れの朝」
- ▶ 5 女声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」
- ▶ 6 混声合唱組曲「嫁ぐ娘に」
- ▶ 7 混声合唱、ヴィブラフォン、ピアノのための「動物の受難」
- ▶ 8 混声合唱組曲「島よ」
- ▶ 9 男声合唱組曲「水のいのち」
- ▶ 10 男声合唱のためのカンタータ「土の歌」

[Back](#)

音楽・合唱TOPへ

[Home](#)

HOME PAGEへ